

第84回 惣菜のわかる八百屋塾

Spring 2023

「惣菜のわかるオヤジの欧州視察記」

FRUXグループ代表 黒田久一

5. レギュラーSM

フランス編

- Carrefour カルフル
- Auchan オーシャン
- E. Leclerc ルクレール

イギリス編

- TESCO テスコ
- Sainsbury's セインズベリー
- ASDA アズダ
- Waitrose ウェイトローズ

【イギリスにおけるスーパーの市場シェア】

新聞にイギリスにおけるスーパーの市場シェアの記事があった。（2023年1月時点）

- 第1位 TESCO 27.5%
- 第2位 Sainsbury's 15.4%
- 第3位 ASDA 14.2%
- 第4位 ALDI 9.2%
- 第5位 Morrisons 9.1%
- 第6位 LIDL 7.1%

上位3社で57.1%

上位6社で、実に82.5%の超寡占市場となっています。

以前は、Morrisonsが第4位に付けていました。

つまり第1位から第4位までは、レギュラーSM企業がランキングされていました。

昨年、ドイツ系ハードディスカウンターのALDIが第4位に食い込み、Morrisonsは、第5位に転落しました。

【TESCO】 テスコ

イギリス最大の食品スーパーマーケット。
国内シェア27.5%

先ずは、
Clapham(クラッパム)にある標準店へ。

ALDIに対抗するプライスマッチ

そして、
Club Card(TESCO会員)を利用したら、

ディスカウントされる「囲い込み作戦」



アルディに対抗する露骨なプライスマッチ



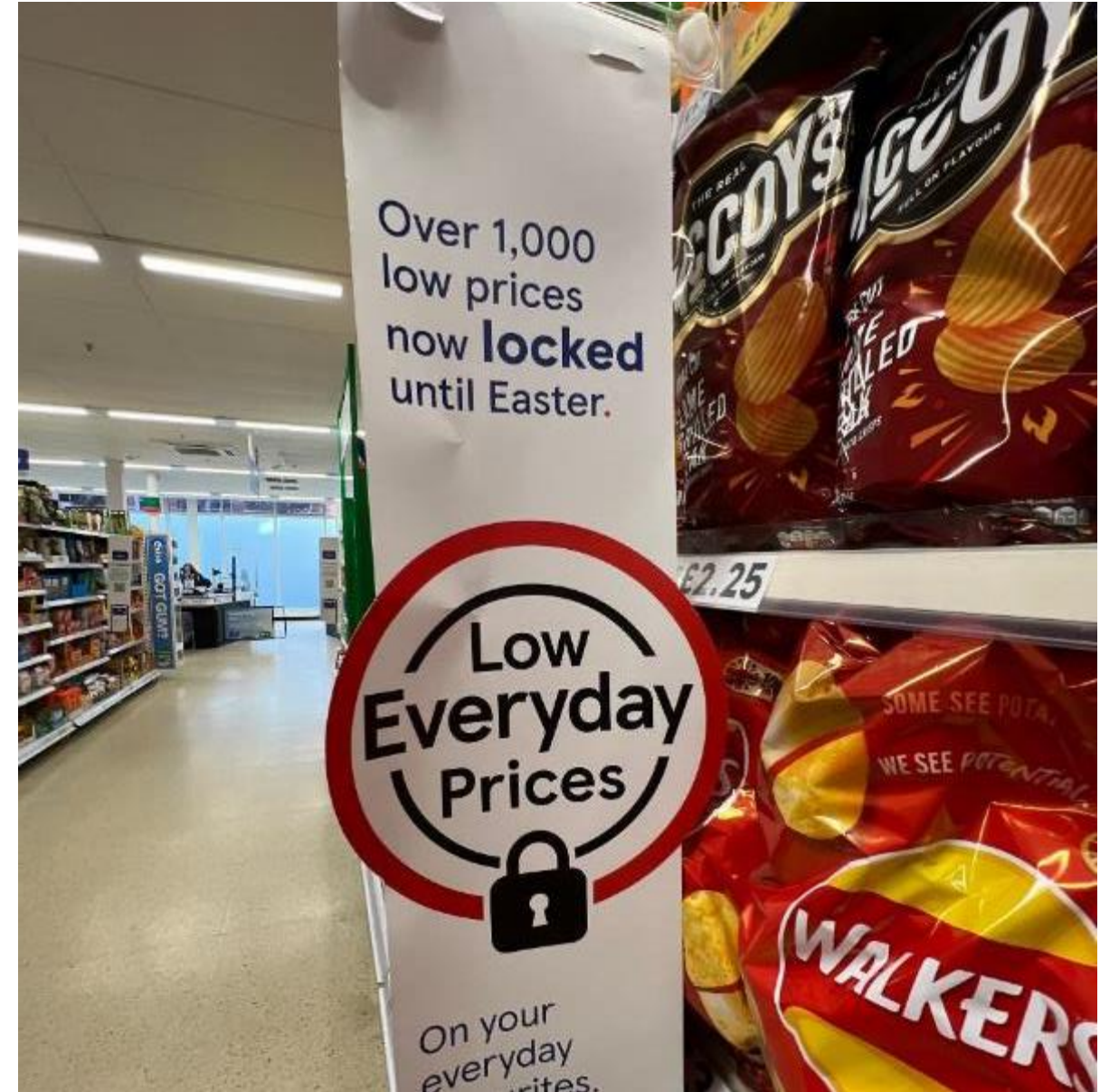




上質のレディミール商品









【Sainsbury's】セインズベリー

イギリス第2位の食品スーパーマーケット。

国内シェア15.4%

Sainsbury'sもTESCOと同様、

つまり、イギリスの第1位、
第2位のスーパーマーケットが、

対抗心むき出しにALDIに対して、

プライスマッチをぶつけている。





イギリスでは、vegetableとフルスペルではなく、Vegと表記する場合が多い。いい感じです。



Skin pack(スキnpack)されたステーキ



油調済みチルド品が充実している。



充実するReady Meal類。セルフレジが圧倒的に多い。



【ASDA】アズダ

イギリスに於ける第3位の食品スーパーマーケット。

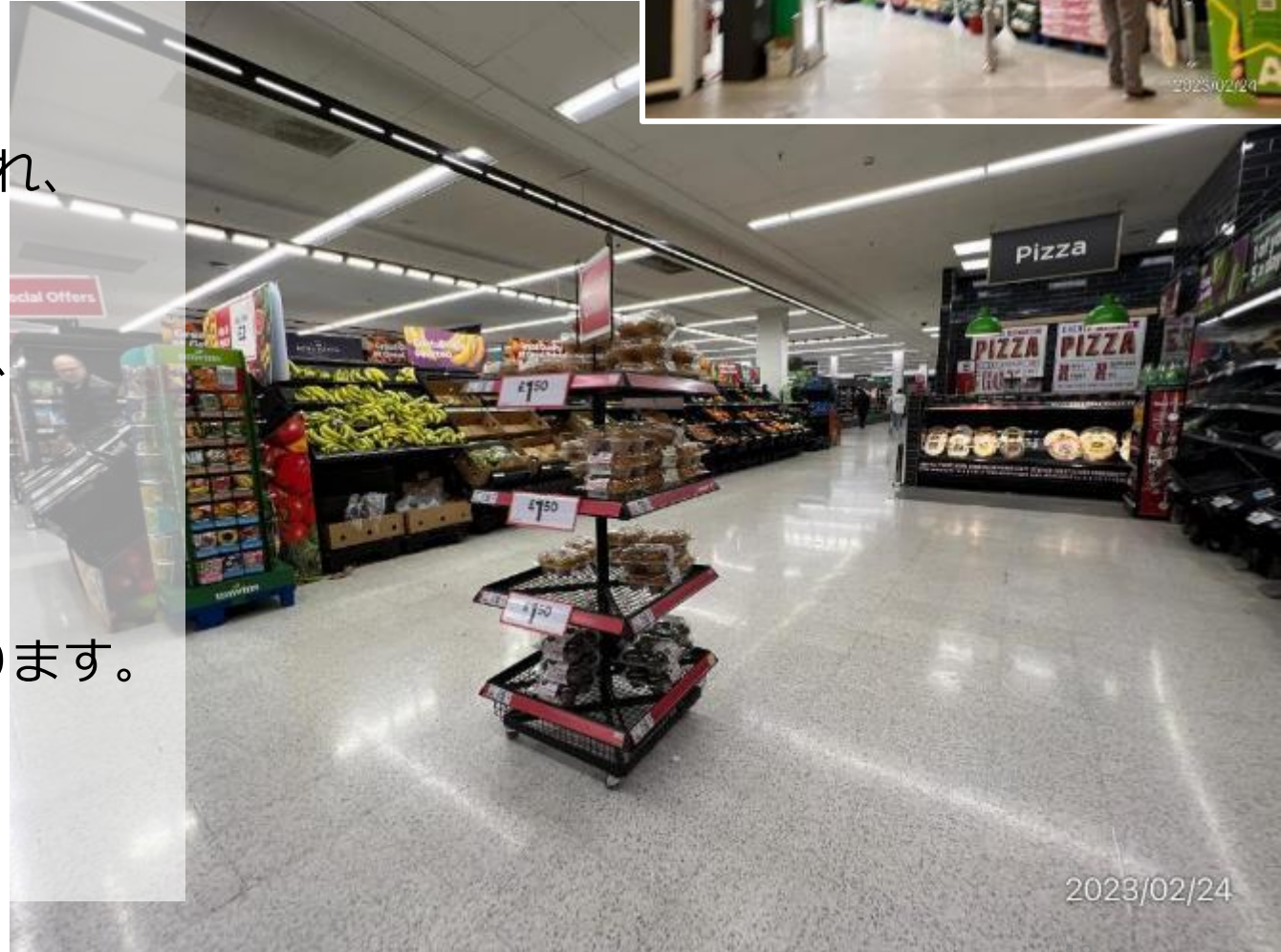
国内シェアは14.2%。

1999年に米国Walmart に67億ポンドで買収され、傘下に。

第2位のSainsbury'sと統合計画が発表されたが、まだ実現していないようです。

Sainsbury's + ASDAとなれば、イギリス第1位のスーパーマーケット連合となります。

今回、Walthamstow (ウォルサムストウ)のASDAを視察しました。



ディスカウント系のASDAで、
三角サンドイッチが2.55ポンド。約450円。

イギリスではかなり割安感がありました。



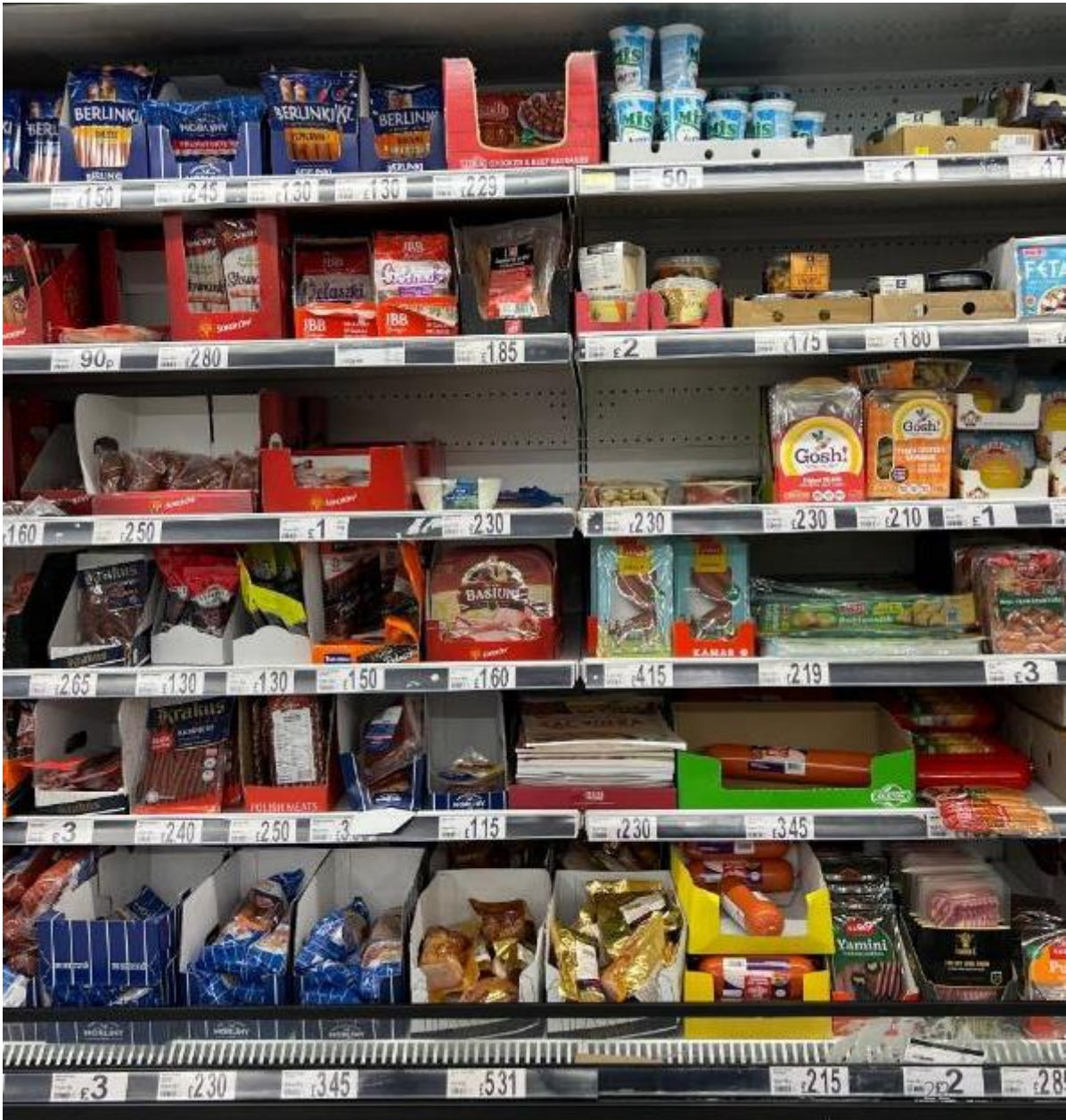
カットフルーツコーナー



青果コーナー



さまざまな国別・宗教別の対応 地中海料理向け



さまざまな国別・宗教別の対応 ポーランド向け



さまざまな国別・宗教別の対応 ハラル向け



Meal Deal (ミールディール)

3点セットで割安にする仕組みです。



stir fry(炒め物)コーナー 炒め物野菜×ソース×麺類

それぞれを好きな好みを一つずつ選び、あとは肉類を買えば、自宅で簡単に焼きそばが出来ます。

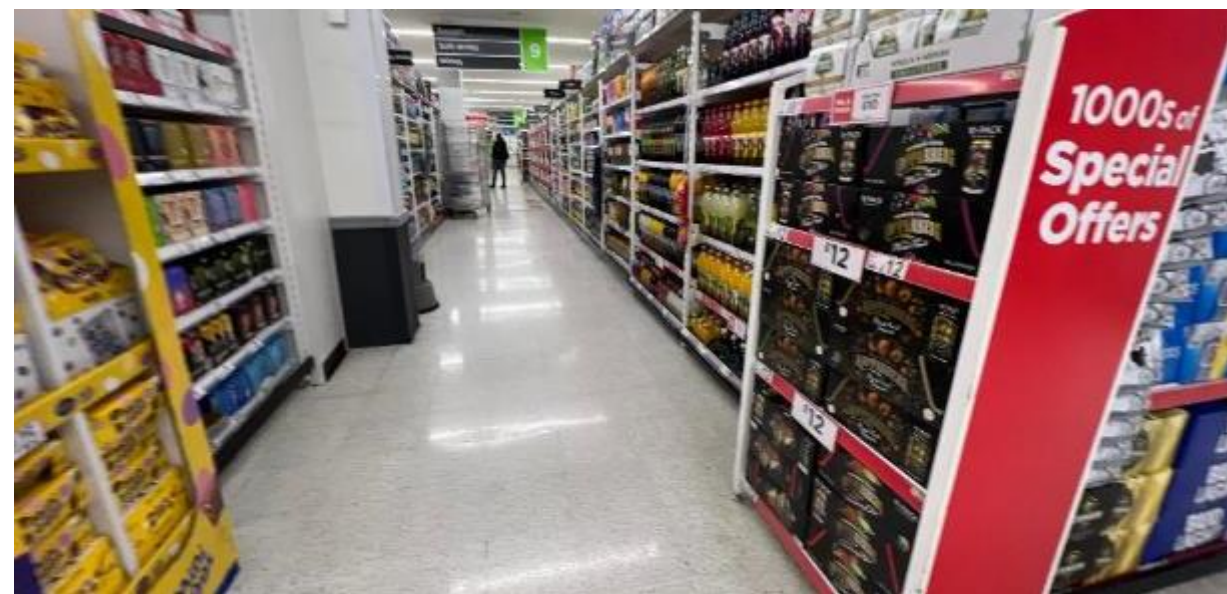


英国農業を支援しましょう。



日清食品の商品 焼きそば。WOK STYLE
WOKとは「中華」を意味します。





【Waitrose】

アップスケール型の食品スーパーマーケット、ウエイトローズ。

日本なら成城石井さんのイメージでしょうか。Waitroseの親会社は、John Lewisと言う百貨店です。

宿泊していた**Gloucester Road** にある**Waitrose**です。





Waitroseは、アップスケール型のSMですが、盛んに価格対応しています。

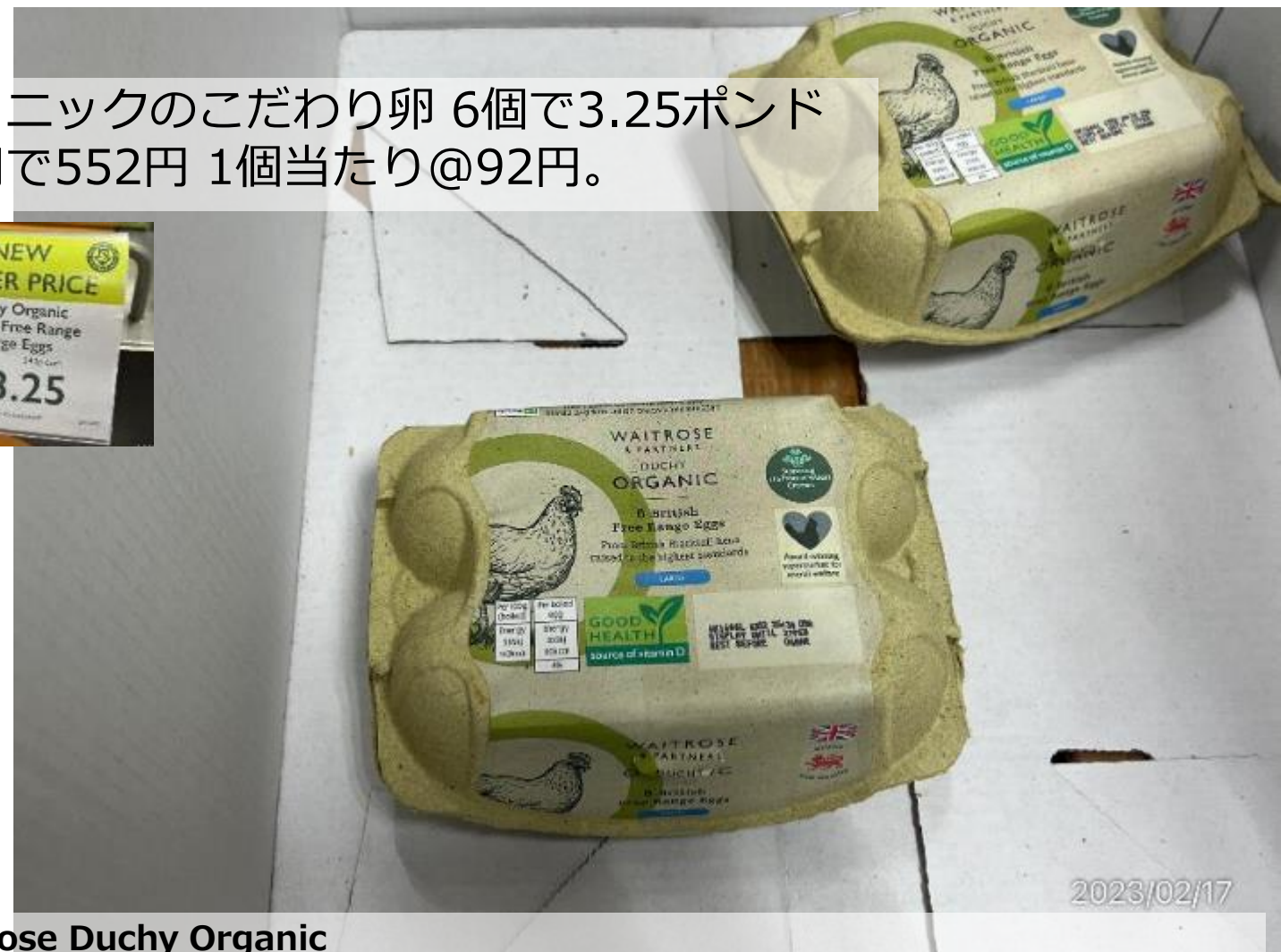
寿司コーナー
こちらの盛り合わせで12.35ポンド／12.35×1ポンド@170円＝約2,100円です。



丼でも、約1,850円。サンドイッチで、4ポンド、約680円



オーガニックのこだわり卵 6個で3.25ポンド
日本円で552円 1個当たり@92円。



Waitrose Duchy Organic

1992年にイギリスのチャールズ皇太子が設立した、オーガニック食品ブランド。自然環境を保護し、有機農業や安全な食品生産を実践している領地の名・DUCHYに由来。品数は230を超え、どれも高品質。チャールズ皇太子の紋章が入ったショートブレッドは、お土産としても定番の大ベストセラー。イギリス国内では独占契約を結んだ高級スーパーWaitroseでのみ購入可能。収益の一部はチャリティーに寄付される。

いちご パック760円



Waitrose £4.50
Strawberries





Waitroseの対面精肉コーナー

Animal Welfare(動物福祉)のポスターがありました。
最近、欧米のSMで、アッパーなお店でよく見かけます。



stir fry(炒め物)野菜



ANGEL駅近くのWaitrose

こちらにも、stir fry(炒め物)コーナー
お客さんが好きなようにカスタマイズする仕組みです。
炒め物野菜・ソース類・麺類・卵麺やフォーなど。



Charlie Bigham's

チャーリービグハム
のチルドレディミールコーナー。



イギリスのSMは、自社PB商品が満載です。

これだけ寡占市場となると自社PB比率が高いのは当然かと思います。

- ・ TESCO brand
 - ・ Sainsbury's brand
 - ・ ASDA brand
- と言うように。

そんなSM自社ブランドの中で、

Charlie Bigham'sは、

「独立ブランド」とし、また、高品質で頑張っているチルドメーカーです。

8年くらい前、

Charlie Bigham'sを表敬訪問させて頂き、CEO直々に会社説明と工場見学をさせて頂き、その考え方に感銘を受けました。

その時、CEOから教えて頂いた、【Charlie Bigham's Our 6 long term goals】
チャーリービグハムの「6つの長期目標」

あの時、必死にメモし、今でも大切に残しています。

【Charlie Bigham's Our 6 long term goals】

- ① Make delicious food.
美味しい料理を作ろう。
- ② Grow our business, profitably.
利益の伴う成長をしよう。
- ③ Be a fair place to work for all.
働く全ての人にとり、公平な職場であろう。
- ④ Remain independent.
自主独立経営を維持しよう。
- ⑤ Be an inspiring place to work.
ワクワクする職場にしよう。
- ⑥ Be truly Lean.
真のリーン経営(ムダのないスリムな経営)を実現しよう。